

中全

題材名 技術分野のガイダンス A(1)、B(1)、C(1)、D(1)

配当時間 2時間

題材の目標

(3) 3 学年間の技術分野の学習に見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 技術分野のガイダンス 1 o 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べる。 o 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを発表する。 o 技術の発展による生活や産業の変化を調べる。 o 身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。	・教科書P12～13を参考に、身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・「技術の見方・考え方」とは、「生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること」であることを押さえる。
2 技術分野のガイダンス 2 o P D C A サイクルに沿って問題の解決を行うことを確認する。 o 社会における問題解決も P D C A サイクルの流れであることを知る。 o 3 学年間の学習内容を確認する。 o 技術分野の学習を生かして、3 年後にできるようになりたいことを内容ごとにまとめる。	・設計・製作を中心としたものづくりではなく「技術による問題解決」に取り組むことを知らせる。 ・ニーズを把握し、問題解決に向けたシーズを確認し、課題を設定することを抑える。 ・3 学年間で学習する「A：材料と加工」「B：生物育成」「C：エネルギー変換」「D：情報の技術」について、見通しをもたせる。 【評】3 学年間の学習内容を確認する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

技術分野の学習への興味・関心を高め、3 年間の学習の見通しをもたせる。実践的・体験的な活動を通して、生活や社会における問題を解決していくことの重要性を気付かせ、よりよい生活や持続可能な社会を構築するための資質、能力を身に付けさせていきたい。